

●太子堂に暮らす人

私たちの太子堂には色々な方々が暮らしています。その人たちの暮らし・思いを尋ねてみます。投稿も大歓迎です。よろしく願いいたします。

◆T.Fさん

私は転勤族で野田・西宮・横浜などを移り住んでここ太子堂に来たのは息子が中学生のときでした。その頃の太子堂は高速道路もなく、246を玉電が走り、通りには小鳥やさんや椅子やさんなどが並ぶのんびりした街並みでした。もちろんキャロットタワーも西友もありません。下の谷通りがにぎわっていて、毎日パンを買いに行ったことを思い出します。

今は街並みもすっかり変わってしまいました。しかし私はこの街が好きです。毎日この街を散歩するのでどこに何があるのか大体わかります。円泉寺の銀杏より三宿神社の銀杏の方が粒が大きいことも知っています。

まちを歩くといろいろな人と出会います。お花が好きなのでどの公園にどんな花が咲いているかも、どのうちにどんな珍しい花が咲いているかも知っています。我が家の花をアレンジして花束にして知り合いに持って行ったり、公園の花壇の伸びた枝を切ったり結構楽しんでます。

街の人とおしゃべりしたり、いろいろな街の情報を手に入れたりすることが、私の活力の源です。



九州大水害救援募金バザー

7月23日(日)三軒茶屋事務所前で、九州大水害募金バザーを行いました。売上の全部を救援募金にしました。

午前中は少し雨もぱらついていてお客さんも少なかったのですが、午後から雨も上がり人通りも出てきました。若いご夫婦が食器を買い求め、里吉さんの写真を指差し、「私、この人に投票したいのでいいでしょう」と彼にいい、彼もうなずいていました。幅広いところで里吉さんに投票してくれていたのです。事務所を閉めてからもお店を出し、救援募金の総額は9600円となり、共産党に救援募金として振り込みました。



里吉さんを囲み 都議選勝利を祝う けやき納涼の夕べ

- 8月3日(木)夕方6時から
 - しゃれなあどスワン
 - 会費500円(飲物・軽食付)
- みなさんの参加お待ちしております。



8月予定●お習字の会

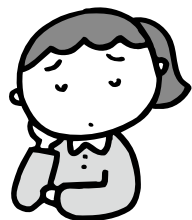
8月3日(木) 1時半～ 三茶事務所3F森さん宅
8月24日(木) 3時～ 三茶事務所3F森さん宅

日時●水曜日の午後6時から8時

場所●日本共産党三軒茶屋事務所
世田谷区太子堂4-5-2(世田谷通り)

電話●03-3419-7721

渋谷共同法律事務所の弁護士さんが相談をお受けします。



生活・法律相談

遠慮せず、ご相談下さい。

無料です。(1回のみ30分)

●必ず予約を入れてください。

部内資料

けやきの会ニュース

日本共産党太子堂後援会 2017年8月

被爆者の悲願が実り、歴史がついに動いた 核兵器禁止条約が採択! 核兵器廃絶にむけて新たなスタートに



核兵器禁止条約の採択が決まった歓喜の中で握手を交わす被爆者のサーロー節子さん(中央)と日本原水爆被害者団体協議会の藤森俊希さん(その左)

●人類史上初めて、核兵器を違法化する核兵器禁止条約が国連で採択

人類史上初めて、核兵器を違法化する核兵器禁止条約が、ニューヨークの国連本部で開かれていた「国連会議」で7月7日採択されました。日本政府が参加しないなか、志位委員長を団長とする党代表団が日本の被爆者団体、平和組織とともに国連会議に正式に参加しこの条約の成立に貢献しました。

国連加盟国でアメリカ、イギリス、日本などが会議をボイコットする中124カ国で会議は開かれ、加盟国の約3分の2にあたる122カ国の賛成(棄権1、反対1)で条約は採択されました。歴史的な壮挙です。

条約は核兵器の「開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵」などが禁止され、さらに、「使用、使用

の威嚇」などが禁止されています。核保有国や同盟国は「核抑止論」という考え方を主張し、核兵器の威嚇によって安全保障をはかろうとするものです。条約は、これを否定したのものとして大きな意義があります。

●世界は大国の支配は不可能に議長を務めたホワイトさんの出身国はコスタリカという小さな国です。しかし、この小さな国の外交官が、核保有大国がどんなに邪魔しても、ものともせずに会議を成功に導

きました。国際政治の主役が、一部の大国から圧倒的多数の諸政府と市民社会に交代したことが「国連会議」ではっきり表れました。

北朝鮮の核問題では。国際社会が核兵器を違法化し、「悪の烙印」を押す方向にすすむことは、北朝鮮を孤立させ、核開発を放棄させる大きな力となります。日本も、核兵器禁止条約に参加することによって、強い立場で北朝鮮に非核を迫れることになるのです。

●核兵器完全廃絶にむけあらたなたたかいを日本が条約に背を向ける態度は、内外で強い失望と批判を招いています。条約に参加するためには、国内で核兵器禁止条約参加の声を圧倒的な声とし、政府・議会の姿勢を変えていくことが何より大事です。野党と市民の共闘の課題として、核兵器廃絶の政府をつくるために新しいスタートをはじめましょう。

三軒茶屋駅南口で、 今エレベーター設置の工事が 進められています。

「安心して利用できる三軒茶屋駅を考える会」代表 浜田 博

●エレベーター設置が2019年に実現

2011年に「安心して利用できる三軒茶屋駅を考える会」を立ち上げて三軒茶屋南口にエレベーター設置の運動を始めました。駅頭宣伝・署名活動などにより住民の長年の悲願だったエレベーター設置が2019年に実現することになりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

「考える会」の活動経過を報告します。

署名活動には切実な声、大きな反応がありました。高齢者の方からは「三茶南口にエレベーターがないので駒沢大学駅を利用している。」「親が三茶近くに住んでいるので、介護しながら駅を利用するのは大変」「エレベーターがないので、親をよび寄せられない、1日も早くエレベーター設置を」等等切実な声がたくさん寄せられ、署名も老若男女を問わず外国人からの署名もいただき、1時間の署名活動で一人で30筆以上の署名を集めることも多々ありました。

●世田谷区・東急電鉄・国交省と交渉、

東急電鉄のほかに、世田谷区・国交省の協力を取り付けることが重要でした。世田谷区長あての署名は4200筆を集め、4回に分けて区へ提出し、区から東急にエレベーター設置を強く働きかけるように要請、桜井区議もたびたび区議会で取り上げて頂きました。当初、区は「南口の民間ビル建て替えの時に作ります」という全く目途のない回答でした。

●東急電鉄と交渉

2014年4月には初めて東急電鉄本社交渉を行い「考える会」では東急電鉄にエレベーター設



置の申し入れ書を提出、東急電鉄からは「今あるキャロットタワー横のエレベーター以外にもバリアフリー（エレベーター）を考えていると前向きな回答があり、翌5月には東急から「考える会」に文書回答で7月に三茶駅周辺の地下鉄出入り口の流動調査（乗降客調査）と実測調査を行うとの表明がありました。10月に流動調査の結果が公表され、南口の住民がキャロットタワー横のエレベーターを一番多く利用していることが判明。東急は南口にエレベーター設置の必要性を認識しました。

●国交省交渉

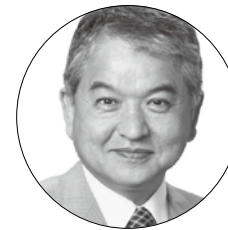
2014年5月に国交省交渉を行い、「エレベーターの申請があれば国として全面的に協力していきたい」旨の回答がありました。

●株主総会（東急電鉄）への出席

毎回出席して、三茶南口のエレベーター設置の早期実現を訴えてきました。

●三茶南口の住民へビラの配布

昨年6月に東急から2019年3月にエレベーターが使用開始の回答があり、「考える会」は三茶南口側の住民（三茶1丁目他）にエレベーター設置実現のビラを全戸配布しました。



日本共産党世田谷区議

桜井みのる の区政報告

人類史上初の 核兵器禁止条約の採択

人類史上初の核兵器禁止条約の採択は、日本の被爆者をはじめ「核兵器のない世界」を求める世界各国と市民社会の多年にわたる共同の取り組みが結実した、歴史的な壮挙です。核兵器禁止条約によって、核兵器を使うこと、持つこと、作ること、実験することなど、すべてが違法だと宣告されました。

核兵器禁止条約の採択は、新たなスタートです。私たちのめざすゴールは「核兵器のない世界」、核兵器完全廃絶の実現です。

核兵器保有国とその同盟国は核兵器禁止条約に反対しています。しかし、その一つひとつの国で、核兵器禁止条約の参加を求める運動をさらに発展させ、核兵器完全廃絶をめざす世論の多数をつくり、政府が条約に調印し、議会がそれを批准する、そういう政府と議会をつくるたたかいが求められます。

公共交通不便地域対策調査・検討の中間まとめ

世田谷区は、公共交通不便地域対策調査・検討の中間まとめを出しました。

世田谷区内の公共交通不便地域は、全面積の19.7%です。区内には、まだ交通不便地域が多数残されています。

中間まとめでは、公共交通不便地域のモデル地区を選定し導入の検討を進めます。モデル地区は砧1丁目～8丁目になりました。

この地区では、交通不便地域に対する勉強会や住民の要望・ニーズ調査（アンケート）を行い、ワゴン車などを活用して移動手段を検討します。



唯一の戦争被爆国の政府である日本政府が、核兵器禁止条約に背を向けている態度を改めさせ、核兵器禁止条約に参加することを強く求めます。

野党と市民との共同を発展させ、このような政府を変え、核兵器廃絶を求める世界の主流に変わり、その先頭に立つ政府をつくるために力をつくします。そのために「ヒバクシャ国際署名」を世界で数億を集めるとりくみに全力をつくします。

そのとりくみを今年度中に行ない、その後、交通不便地域解消のバス導入を行います。

高齢化による通院や買物などのために、コミュニティバスの運行をのぞむ方々が増えていきます。日本共産党都議会議員里吉ゆみ事務所は、この間、コミュニティバス導入に関するアンケートを行いました。

